

おかげさまで25周年

平成二十五年元旦

今年がより一層よい一年でありますよう
お祈り申し上げます

あけましておめでとう
あけましておめでとう

さくらメディカル株式会社
代表取締役 武藤 敬一

介護・人物模様

多彩な趣味人

森昭太郎様 森梅子様

の雪国生活

森子朗……このペンネームをご存知の方があられるかもしれません。本文に登場する主役は、日刊上越タイムスの前身「上越新聞」のコラム「遊報」にかつて童話作家杉みき子、俳人江見渉と論陣を張っていた論客の一人です。東京・台東区の下町風俗資料館にも縁があるその人は、東京から来て「越後の文化の底上げをしたい」と大きな主題を抱え、高田に降り立ちました。

不屈の精神は、何でも「自分の力で」

上越市高田地区の北本町、雁木通りがゆるやかな曲線を描く頂点に小さな床屋さんがありました。「さくら理髪店」……住まいはこじんまりしていますが、床屋さんの店主の考え方が只者ではないと頭を刈りに来るお客さんは感じておりました。彼らは雑談の端々からユーマアとウィットに富んだ話を聞き、頭の中も外もリフレッシュされて帰るのでした。ご主人の森昭太郎様は昭和7年生まれ、80歳の奥様の梅子様はひとつ下の79歳。そのおふたりには東京にお住まいの息子さんとニューヨーク在住の娘さんがおられます。梅子様は平成20年に病気を発症し、家事を昭太郎様にバトンタッチされました。が、その昭太郎様も翌21年9月に脳梗塞で転倒、右半身マヒの障害を受け、その上、一昨年の5月、じん帯をひねって痛めてしまいました。しかし、不屈の精神

三八豪雪の風景に感動

藍染収集の原点

お姑さんへの愛が永住を決意させる



「思えば遠くへ来たもんだ…」雁木にたたずむ森様ご夫妻

昭和38年2月、東京からご夫妻は高田駅に降り立ちました。ここはサンパチ(38)豪雪の真っ最中、雪が多いのにびっくり。路傍に四角く高く積んだ雪の壁をのこぎりで切り、それをソリに乗せて川に捨てる、何という詩情あふれる光景であったろうと当時を振り返り遠い目をして語ります。

北国の春そのもので、感動は新鮮であった……昭太郎様は住まいから南西の方角に広がる一帯の田んぼに、霞がかかっている光景は、日本の美しい原風景として深く印象に残っているとおっしゃいます。それは、後段で触れることとなります。藍染の着物とのかかわりの原点につながることもかと思われれます。

年3月の第3日曜日に「味噌煮」を手伝うことにしておりました。味噌煮は茹でた大豆を手回しのミキサーで挽き、麴と塩の量を計って仕込む力作業の一つです。奥様は、「年を取ったお年寄りには任せられない作業ですもの……。おばあちゃんが喜んでくれるなら、ずーっと居ようと思った」とやさしく語りました。ワカメの塩揉みを手伝ったと奥様。奥様のお母さまが長野から訪ねて来た時、作業を手伝いながら、日本海の荒波を、東映映画のはじめに出てくる社名のタイトルシーンみたいだと感激したそうです。

の持ち主の昭太郎様は、奥様に手伝って貰い、自分たちでできることをやうと不自由な右手を使いながら調理に挑みました。今では包丁も上手に扱えるところまで上達しました。しかし、買い物などはひとりで出掛けることに難儀を感じていたため、週二日利用されている訪問介護サービスの中で、「自分たちで食品を見て買って食べたい」という願いを叶えながら生活しておられます。

「あの今では舗装路になつてしまった小高い山に通じる道も、まだ残雪が残る田んぼを両脇に従え、墨絵のように薄墨を流したせせらぎのリズムは陽光におどり、まさに

「趣味三昧——私は自分の生涯を例えるなら、趣味に生き、その内容を人々に継承した、という

趣味に生き、趣味の会を育てて……

「趣味三昧——私は自分の生涯を例えるなら、趣味に生き、その内容を人々に継承した、という

次頁へ続く

まず、「そばを振舞う会」。野趣に富んだ「そば」を主役に地酒を酌み、詩や古美術の鑑賞で会のテンションをあげようという欲の深いもので、人脈は広範囲にわたりました。雪国の高田へ来て地域性のある企画展をやりたいと思い、「私の集めた焼き物展」を二度にわたり開催しました。

使うもののもつ確かな美しさや、焼き物とポエジー”をテーマに、柏崎市や糸魚川市の収集家たちの参加を得ての催しは、大変に好評で、「我が意を得たもの……」と当時を振り返っておられました。



さくらメディカル訪問入浴介護事業所(上越市)では昨年末、冬至を前に毎年大変喜ばれている恒

訪問入浴 恒例の「ゆず湯」!!

例の「ゆず湯」が提供されました。

その毎年の楽しみを受けて、「ゆず湯」のもと、柚子の実をお送りくださる方がおられます。少しでも役に立ててほしいという、この時季のうれしいお気持ちです。

今冬もゆず湯を楽しみにしておられた上越市寺町の新保ヤス様(91歳)は、「これで元気に年を越せます」と笑顔で年の瀬を感じておられました。

だ芝生を直して会場を整備するボランティア活動も行っています。写真で広がる人脈も大きく、織維問屋の社長や妙高山を撮影している写真家、県の水連会長など話題に事

● 藍にほれ、愛を原動力に感じ

人生の総決算「藍染展」



みなぎる力を白いアゴひげにたくして...平成17年の展示会場で(前列左から2人目と3人目)

欠かない名前が飛び出します。「趣味の世界は利害関係が無いから無垢の気持ちで付き合える」と普段から関心を持っていた「藍染」のことに話が移りました。

「出藍のほまれ」という古い言葉がありますが、これは藍ガメに染料となるスクモを発酵させ、思いつきの染料に仕上がったときの感激を表現したものだそうで、「藍」は「愛」にも通じ、日本人の生活と深く結びついていて、江戸期に入ると木綿の織物が普及し、藍染がより身近なものになりました。

しかし、いま私たちの生活から藍染の麻や木綿の衣類が姿を消しつつあることを危惧し、保存しておきたいという思いで、梅ちゃん(奥様)を励まして収集しました。上越近辺よりも柏崎や刈羽の地域の方が品物も動き、コトコトと電車でゆられ、梅ちゃんは精力的に古物商通いをしました。収集した品物を公開しようと

いう機運が盛り上がり、《わが心のオアシス・森梅子古布コレクション・藍染展》が平成17年7月1日から3日まで、上越市民プラザで開催される」とい、展覧会に結実しました。

東京をはじめ県内外から約2千人近い人が足を運んでくれました。それもインターネットなどが十分に活用されていない時代、民間の収集家の展覧など見向きもされないかも知れないという不安の中、すべては趣味人の大同団結があったからだろうと振り返ります。

A4版80頁オールカラーの図録を引っさげて「藍染展」は森子朗・森梅子のペンネームが輝いたときでした。

この図録を紐解くと、挨拶文に英訳が施されています。

ニューヨークの世界貿易センタービルのテロで九死に一生を得たお嬢さんや娘さんの息がかかっているものとうかがい知ることができました。

ご家族・友人知人が一丸となって計画、遂行された展覧会は、成功裡に終わりました。

展覧された古布類を次の世代に継承し、日本人の生活の原点を探る実証

的なものの一つにしたいきたいと常々願っているとのことでした。最後に、ちょっと残念

なのは森子朗という俳号で20歳前から精進してきたという「俳句」について聞き漏らしたことです。

介護簡単メニュー

限られた食材・旬の食材とアイデアで作る介護食

美味しい食事は、一日のなかでも楽しみの一つであり、元気の源です。

さくらメディカルの訪問介護事業所では昨年11月、恒例の調理実習を行って腕を磨きました。

限られた材料と時間にみんなのアイデアを出し合って新しいメニューも誕生しました。これからも「美味しい」のひと言を求めて研鑽に努めていきます。



【献立名】

- ポテトサラダ
- じゃがいものキンピラ
- 酢豚
- かき揚げ風揚げ焼き
- 人参とキャベツのサラダ
- 玉子スープ
- すりおろし人参とじゃがいものおやき

【調味料】

- 砂糖、塩、油、醤油
- 味噌、ほんだし、コンソメ、酢、マヨネーズ、ケチャップ、片栗粉、塩こしょう
- かぼちゃのコーロッケ風
- かぼちゃのあんかけ
- ロールキャベツ
- 和風ポトフ
- 大根のスープ煮
- 煮なます

なるほどッ!介護リフォーム

第4回

母の退院に備えた 三世同居のリフォーム



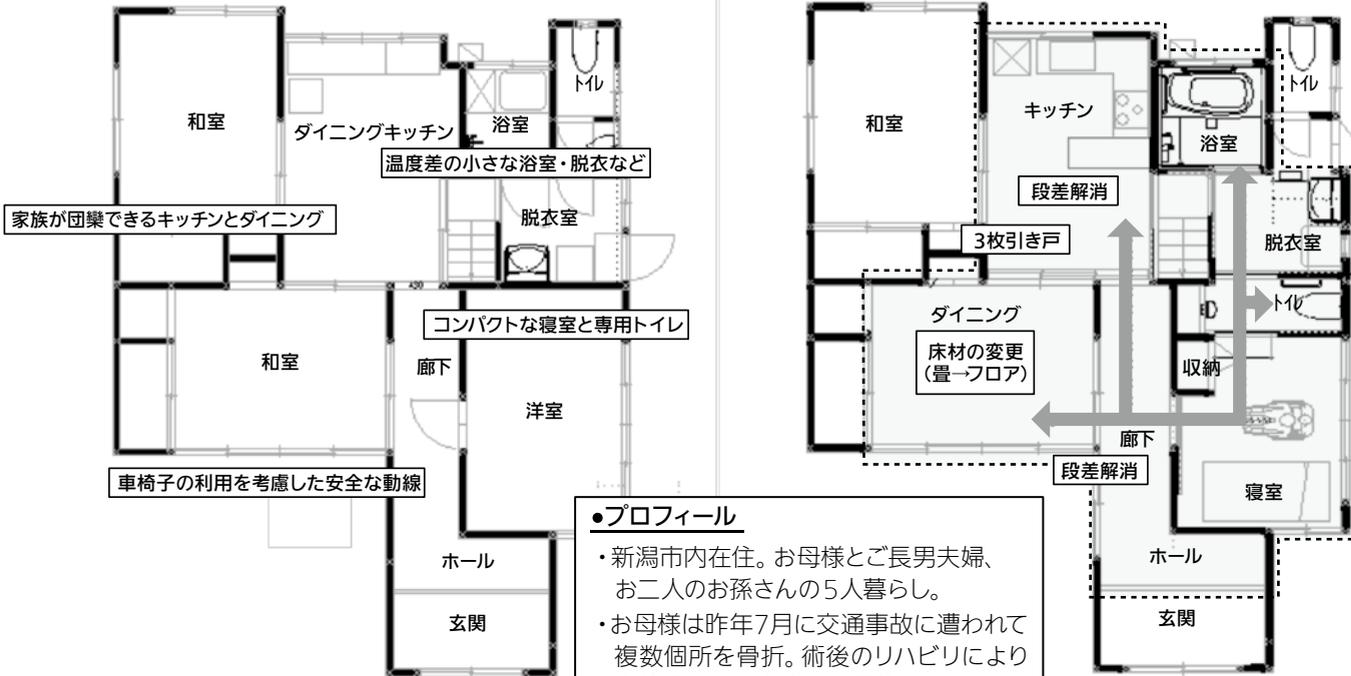
…安全で暮らしやすい
家族団欒の住環境…

ご家族からのご希望は、お母様の将来のことも考慮して、「車椅子での生活も可能なプラン」であることと、「三世同居家族全員が使いやすいプラン」にして欲しいことの2点でした。

昨年7月、突然の交通事故に遭って複数箇所を骨折、病院でのリハビリを経て、三十数年ほど住み続けてきたご自宅への帰宅が近づくお母様（78歳）とご家族。今号では、お母様の退院に備えて、昨年末に完成しました介護リフォームの事例をご紹介します。

故に遭って複数箇所を骨折、病院でのリハビリを経て、

改修前【ご要望】 → 改修後【介護リフォームの実施内容】



- 全般的なヒートショック対策
 - ・窓を断熱サッシに変更
 - ・床や壁に断熱材を充填
 - ・浴室をユニットバスに変更
 - ・暖房換気扇を設置
- ・寝室の隣にトイレを新設
- ・洗面や脱衣室・浴室も寝室から直接移動できる動線を確認
- ・収納を設けて暮らしやすい間取り

・プロフィール

- ・新潟市内在住。お母様とご長男夫婦、お二人のお孫さんの5人暮らし。
- ・お母様は昨年7月に交通事故に遭われて複数箇所を骨折。術後のリハビリにより車椅子での自立生活が可能となり、退院に向けて歩行器にて訓練中。

・介護リフォームに対する助成制度など

今回の介護リフォームでは、二つの助成制度（①介護保険の住宅改修費と②新潟市健幸すまいるリフォーム支援事業）を利用しました。住宅改修に対する各種の助成制度を利用することによって、工事費用の負担を軽減することができます。



寝室から浴室まで一直線で便利で安全な動線
 寝室横に新設した専用トイレ
 広くて使いやすい洗面・脱衣室
 寒さを感じにくいユニットバスに変更した浴室
 3枚引き戸を開放すると一体的な空間になるキッチンとダイニング
 段差を解消して車椅子での移動が可能なキッチン

安心・安全・快適な福祉住環境整備のことならお気軽にご相談ください。

さくらメディカル 福祉住環境部
 小泉正昭（一級建築士）
 ☎025-280-8833



食べやすく美味しい料理が勢揃い



完成

介護食士(右)のアドバイスを聞く



新しいメニューも誕生!



みんなでアイデアを出し合う



準備ができたなら



さあ! 調理

一般的な食材・調味料や旬の食材

ブロック通信

地域のお客様に喜んでいただくために…

介護ショップ

新潟店
新潟東店
新潟西店



着型のショップ展開を進めています。

新潟市は平成19年に政令指定都市となり、現在の人口は約81万人です。

「さくらメディカル介護ショップ」では、昨年9月に「新潟東店」（新潟市東区逢谷内）がオープンし、新潟店（同中央区上沼）と新潟西店（同西区寺尾西）と合わせて新潟市内に3店舗となり、地域のお客様にお気軽にご利用いただける地域密着

楽しく豊かで便利

介護ショップでは、「お客様の日常の暮らしをより楽しく、より豊かに便利に」をコンセプトとして、店舗ごとにオリジナルの店づくりを目指しています。

介護相談に即応の窓口

先日、こんなことがありました。お客様が来店され「これからおじいさんが退院するんだけど何を留意してよいかかわからない」とのご相談を受けました。

慌てている様子でしたが今までの経緯をお聞きしました。

当店では、居宅介護支援事業所も併設されています。

新潟店



新潟市中央区上沼393 電話：025-280-8338

新潟東店



新潟市東区逢谷内4丁目1-11 電話：025-272-6666

新潟西店



新潟市西区寺尾西2-7-1 電話：025-264-1022

るため、その場でケアマネジャーが介護保険の相談と申請を行い、福祉用具の担当者に連絡。すぐにベッドや車椅子を手配し、無事に退院の日を迎えることができました。

当日、ご本人様が安心してご自宅に戻られたとお話しを聞き、とてもうれしく思いました。

地域の身近な存在に

介護ショップにはたくさん

さんの福祉用具があります。「こんなのがあったらいいな…」と思ったらぜひお気軽にお立ち寄りください。大切な人が使うものだからこそ、実際にお試しいただき、納得してお選びください。

当店では、今後も地域に根ざしたショップを目指し、地域の方々への身近な存在になれるよう努めてまいります。



ショップ便利用品のご案内

いつでもどこでも使えるお手軽リハビリグッズ！

寒い冬、外出する機会が減り少なくなって運動不足になっていませんか？ そこで今回は、そんな運動不足の方におすすめの軽量でコンパクト！しかも、場所を選ばず、どこでも簡単に使えるリハビリグッズをご紹介します。

①テトラグリップ

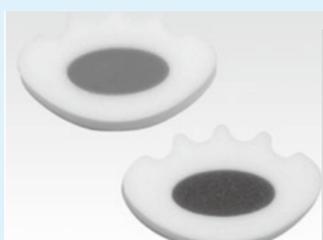
テトラポットのような形状が指の間にうまくフィットするので持ちやすく、指に適度の刺激を与えます。ほどよいやりわらかさなので、軽く握ってリハビリに、強く握ってトレーニングに使えます。集中力の向上や、ストレスの解消にも効果が期待されます。

②ぐっぱく（2個セット）

にぎってひらいて、手軽にエクササイズ。硬さの違う2種類の中芯を入れ替えることで硬さを3段階に簡単に換えられます。手にフィットする握りやすい形状で汚れら多洗えます。手軽にできるリハビリや筋肉強化にいかがでしょうか。



定価¥1,050 (税込)



定価¥1,260 (税込)



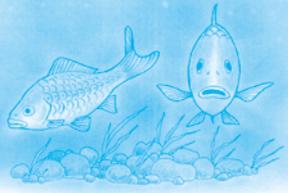
生き物詩リース⑧

詩 国見 修一（詩人・上越詩を読む会 妙高市）
絵 山本みゆき（子どもの読み聞かせサークルでの活動 上越市）

寒鮎

深いよどみのベッドで
じっと寒さに耐える金緑の目
天上を見上げれば
光はそっと歌い始め
尾びれが勝手に動く

ああ、春よ
ハル！



新潟市内全域からのお客様が来店されるため品揃えの充実を努めております。常に新しい介護用品・福祉用具を取り揃えてお客様をお待ちしております。

「安心介護のお手伝い」を合言葉とし、大型店にはない専門商品を豊富に展示。交通の便もよいので気軽にお立ち寄りいただけ、安心して商品をお求めいただけます。

「地域に密着した福祉用具サービス」を目指し、近隣の方々がお買い物の途中に立ち寄って、介護や生活に便利な品々を手にとって見ていただけるように心がけています。